

マイクロ化学プロセス分科会 2016 年度第 7 回討論交流会のご案内

今回の討論交流会では日本プロセス化学会, 化学とマイクロ・ナノシステム学会, 一般財団法人近畿化学協会, 京都大学マイクロ化学生産研究コンソーシアムより協賛を御快諾頂いております。まず始めに深く御礼を申し上げます。

協賛を頂いた団体所属の皆様はマイクロ化学プロセス分科会の会員と同じ参加費とさせていただきます。奮ってご参加下さい。

分科会の毎年恒例行事であるマイクロ化学プロセス分科会第 7 回討論交流会を 35 名の定員で今年も開催させていただきます。奮ってご参加をお待ちしております。開催要項は以下の通りです。

日時場所：

2016 年 7 月 1 日(金)午後～2 日(土)午前

討論交流会及び工場見学

三重県津市 マリーナ河芸海の学舎 参考¹⁾

三重県四日市市 味の素東海工場 参考²⁾

費用及び支払い方法 (何れも税込み、1 名あたりの金額です)：宿泊費 7000 円

参加費 学生 1000 円 (宿泊費と合計で一人あたり合計 8000 円)

会員及び協賛団体会員 5000 円 (" 12000 円)

その他会員外 8000 円 (" 15000 円)

支払い方法は参加費と宿泊費の合計金額を当日支払いまたは銀行振り込みで御願います。当日持参の際はお手数ですがお釣りのないようにご準備下さい。

また銀行振り込みの方法は参加申し込み確認のメールにてお知らせします。尚領収書は当日参加費と宿泊費の 2 枚の宛先を所属組織+部署名そして申し込み者氏名の宛先として分科会代表幹事名でお渡しさせていただきます。

主なスケジュール

：1 日目 7 月 1 日(金曜日)

集合場所

近畿鉄道名古屋線海山道駅西出口

13 時 10 分 参考³⁾

13 時 20 分 味の素東海工場入場

13 時 30 分 ～ 15 時 00 分 工場見学

ほんだし工場(生産ラインは非稼働の予定),

味覚体験,バードサンクチュアリ見学

15 時 10 分 退場

移動 近鉄名古屋線 海山道駅発 15 時 44 分 →千里駅 16 時 10 分



海の学舎(全景)

16時20分 海の学舎 到着
(参加登録,領収書発行及び事務連絡)
16時30分 ~ 18時30分 散策,入浴
18時30分 ~ 20時30分 交流会
マリーナ河芸バーベキュー会場
21時00分 ~ 2次会



交流会(懇親会)予定会場

: 2日目 7月2日(土曜日)

9時00分 各自朝食(セルフサービス)を済ませて 1F の多目的室に集合

9時00分 ~ 11時50分 討論会(司会 前半 松岡幹事 後半 安川幹事)

- 9時10分 講演1 並列マイクロ化学プロセスの設計と操作
講演者 京都大学大学院工学研究科化学工学専攻
化学システム工学講座 助教
殿村 修 先生(質疑応答含めて 35分を予定) 参考⁴⁾
- 9時45分 講演2 流通系反応器設計のチュートリアル
講演者 東北大学原子分子材料科学高等研究機構阿尻研究室助教
青木 宣明 先生(質疑応答含めて 35分を予定) 参考⁵⁾
- 10時20分 マイクロ化学デバイス及び周辺機器メーカーセミナー
株式会社ナード研究所 神戸研究所
ライフサイエンス研究部2グループ 嶋田 様
横河電機株式会社 マーケティング本部
イノベーションセンター研究開発部 宮崎 様
- 10時40分 休憩(10分間)
- 10時50分 講演3 液化DMEなどの高圧流体を用いた抽出・晶析手法
講演者 名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻
後藤研究室所属 助教 神田先生 参考⁶⁾
- 11時35分 総括及び事務連絡
11時45分 解散 参考⁷⁾

お申し込み方法 ;

討論交流会と後述のオプションルツアーに参加の希望は
Email:mrt-shomu@cheme.kyoto-u.ac.jp 宛にタイトルには「参加申し込み_分科会討論交流会(御名前_御所属)」として本文には

【御名前】 記入例 ; 太田俊彦(オオタトシヒコ)

【性別】 男性 または 女性

【分類】 学生, 会員及び協賛団体会員, その他(会員外) 何れか一つ

【年齢】 50歳代

【所属】 XXX 社(株)

【所属部門名及び職位】 愛知 XXXXX

【連絡先住所】 愛知県知多郡武豊町 XX

【電話】 0569-72-XXXX(090-xxx-xxx)

(出来る限り当日連絡を取れる携帯電話番号も含め登録を御願います)

【連絡用 Email アドレス】 tooota@XXX.xxxxx.xxx.jp

(こちら可能ならば当日連絡を取れるアドレスも含め登録を御願います)

【参加費の支払い方法】 銀行振り込み または 当日支払い

【オプションツアーの参加】 希望する または 希望しない

【その他分科会や今回の討論交流会への希望など】

をそれぞれ明記の上お申し込みを御願致します(こちらをコピーして御使い下さい)。



海から眺めた三重マリンセンター

申し込みの期限は 6 月 10 日までとさせていただきますが満席となった時点で参加申し込みを中止させていただきます。

皆様の所属や部署の情報は定員をオーバーした際に参加者の調整を御願する目的で参加受付の際に伺わせて頂いております。また性別や年齢の情報は部屋割りなどを行う際に部屋毎の年齢などを揃える事で出来るだけ空き時間も活発な交流や討論が出来る様にする目的でお聞かせ頂いております。尚 ここで頂いた個人情報は分科会の個人情報保護に関するポリシーに則り、厳重に取り扱わせて頂きます。

最後に内容の確認や照会などのお問い合わせも

Email:mrt-shomu@cheme.kyoto-u.ac.jp 宛までタイトルには「内容確認_分科会討論交流会(御名前_御所属)」にて御願致します。

(オプションツアー;四日市コンビナートクルージングのご案内)

趣旨と目的: 今回討論交流会と工場見学を行う三重県北部地方の海岸部には 昭和 30 年代に日本で最初に稼働した石油化学コンビナートである四日市コンビナートがあります。近年の「工場萌え」ブームにより増加しつつある工場観賞愛好家から「聖地」とも称され、日本 5 大工場夜景のひとつになりました(四日市市観光協会 HP から転載)。伊勢湾を東西に渡り海から中部国際空港を見るツアーも検



夕方の四日市港(観光協会 HP より転載)

討しましたが本分科会の目的と趣旨に鑑み、特に化学工学や工業(応用)化学を学ぶ初学者や学生の皆さんには日本における化学装置産業のスケールの現実と化学工学の移動現象論に裏打ちされたその機能美を知って頂きたいと思えます。

今回の討論交流会の宿泊先海の学舎の管理者でもある三重マリンセンターの協力を頂き、プレジャーボートを使い海からの四日市コンビナートを見学するクルージングツアーを行います。こちらの方の参加も是非ともご検討下さい。

日時: 7 月 2 日(土曜日) 討論交流会終了後 13 時 30 分頃~16 時 30 分頃まで

定員: 20 名(11 人乗りの中型プレジャーボートと小型ボートを使う予定です。それ以上の人

数での開催となりますと分科会庶務幹事が操船を担当する事になります。)

申し込み人数が定員を上廻った場合には学生や女性を優先させて頂き、その後は抽選とさせて頂きます。ご理解とご協力を御願い致します。

費用：調整中(昼食別で 6000 円前後で交渉中;当日現金で徴収させて頂きます。尚行事の内容の都合上、領収書発行については個別にご相談下さい。)

旅程：討論交流会の解散後に三重マリンセンターマリーナ河芸のクラブハウスで昼食を取り、その後 13 時位から乗船の注意事項と航路の説明を行います。

乗船し河芸港を出港して、40 分ほど北上してシーバース(LNG 洋上補給基地)を見た後に四日市港の第 2 航路から進入し、第 3 そして第 1 コンビナートと海から見学した後にマリーナ河芸に戻る予定です。

注意事項：乗船以降は船の責任者の指示にしたがってください。

海上の行事に付き天候に関する影響がより強くあります。直前の風雨により中止する場合があります。貴重品以外はクラブハウス等に置いておくようにして出来る限り身軽な服装での乗船を御願致します。特に滑りやすい靴での参加はご遠慮下さい。併せて海水に濡れても問題ない服装でご参加下さい。また船酔いなどが予想される方は酔い止め等ご用意下さい。ライフジャケット等は船に備え付けられておりますので船の責任者の指示に従って着用して下さい。

参考情報

1) 三重マリンセンター海の学舎 URL <http://www.marina-kawage.co.jp/mie-marin/>

2) 味の素東海工場 URL <http://www.ajinomoto.co.jp/kfb/kengaku/tokai/index.html>

生産工場ですので杖や車いすを用いる歩行が困難な方の見学はご遠慮頂いております。

また食品工場ですので当日体調の優れない方の見学も併せてご遠慮頂いております。併せて生産ラインを見学には帽子を被る事になっておりますので可能な限りご持参を御願い致します。

3) 海山道駅へのアクセス方法

東京方面から,中部国際空港または新幹線を使い名古屋で乗り換えてお見えになる場合

(a) 近鉄名古屋駅発 11 時 31 分発 伊勢中川駅行き→ 海山道駅 12 時 44 分

(b) 近鉄名古屋駅発 12 時 21 分発 急行五十鈴川行き→ 近鉄四日市駅 12 時 54 分着

(乗り換え)近鉄四日市駅 13 時 01 分発 伊勢中川駅行き→ 海山道駅 13 時 04 分

(c) 近鉄名古屋駅発 12 時 30 分発 特急難波大阪駅行き→ 近鉄四日市駅 12 時 58 分着

(乗り換え)近鉄四日市駅 13 時 01 分発 伊勢中川駅行き→ 海山道駅 13 時 04 分

大阪方面から近鉄を使ってお見えになる場合

(d) 鶴橋駅 11 時 06 分発 特急近鉄大阪線名古屋駅行き→ 津駅 12 時 22 分着

(乗り換え)津駅 12 時 27 分発 特急名古屋線近鉄名古屋駅行き→ 白子駅 12 時 36 分着

(乗り換え)白子駅 12 時 39 分発 近鉄名古屋駅行き → 海山道駅 13 時 01 分

(ご注意) これらは 2016 年 3 月時点の情報によるものです。時期が近づきましたら鉄道会社の公式のダイヤ,時刻表で再度確認を御願致します。

また近鉄名古屋駅は JR 名古屋駅や名鉄名古屋駅からのアクセスが不便な位置関係にあります。乗り継ぎ時間は乗車券の購入も含め 15 分程度の余裕は持って列車や航空機のチケットは準備下さい。(c)及び(d)の近鉄線の特急の乗車には全席で乗車券と追加で有料の特急座席指定券が必要になります。

4) 殿村先生 URL <https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/mR0dH>

5) 青木先生 URL http://www.wpi-aimr.tohoku.ac.jp/jp/research/researcher/aoki_n.html

6) 神田先生 URL http://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/view/html/100006607_ja.html

- 7) 近鉄千里駅より名古屋方面へのアクセスについては土曜日午後毎時 0,22,44(16 時代のみ 43)分に普通列車が発車し、途中から急行に乗り継ぎ近鉄名古屋駅に 1 時間 20 分程度で到着することが出来ます。但し千里駅は跨線橋がなく、大阪方面行きホーム側から改札入場後に遮断機を渡ってから名古屋方面行きホームに入る事が必要です。名古屋方面行きの列車に乗車の際には時間に余裕を持ってホームでお待ち下さい。

分科会の個人情報保護に関するポリシー

マイクロ化学プロセス分科会(以下分科会と略します)では今回収集した個人情報は目的の越えた利用をしない事をお約束させていただきます。

(個人情報の定義)

個人情報とは「個人情報の保護に関する法律」に定義される氏名、生年月日その他の記述等により「特定の個人を識別することができるもの」とします。

(個人情報収集の目的)

今回収集させて頂いたこれらの個人情報は(今回の討論交流会,講演会)の事前の開催案内及び事後の結果報告などの連絡調整と来年限りの(次回の討論交流会,講演会)の勧誘のみに使用させて頂く事を目的とします。

(個人情報の具体的な管理方法)

分科会では個人情報を取り扱う作業をする際にはインターネット等の外部に対してハード的・ソフト的ファイアウォール内にある PC やタブレットなどで行い、ウイルス対策ソフトのデータベースは最新のものを使用します。また個人情報を持ち出しや運搬をする際にはハードウェア的に保護・暗号化が出来る USB 等のメディアを使用します。

(忘れ去られる権利)

分科会が収集した個人情報の当事者またその継承者からの申し出があった場合に分科会は速やかに当該の個人情報を一切削除抹消します。

編集後記

この年度で役付幹事が交代しました。改めて宜敷く御願ひ致します。昨年まで役付幹事を務めた外輪先生始め皆様本当にご苦勞様でした。新任の役付幹事一同力を合わせて、先輩方や現在分科会会員の皆様にご迷惑やご心配をお掛けしないように頑張っていきたいと思っています。

私事ですが 2 年前まで副代表幹事を勤めさせて頂き、その後少し休眠状態をした後の庶務幹事として再登板となります。覚悟はしておりましたが 2 年足らずでやはり世の中の潮流は大きく変わっている事を実感しております。

講義でも化学工学で移動現象論(加熱・伝熱)を教える際の冒頭に技術史を紐解き、人間が炎を手に入れた時代は概ね 50 万年以上前と知られていますが、それ以降は蠟燭が紀元前 1550 年頃に歴史に始めて登場し、エジソンの電球発明は西暦 1879 年、赤色発光ダイオードの発明は西暦 1962 年となり、現名城大学!の赤崎先生達の青色発光ダイオードの発明は西暦 1991 年と技術は変化するのではなく、科学技術はその変革速度自体が加速していくと学生達には諭しています。

お陰様で休眠中に齡 50 歳を越えましたが、過去の経験は大事にしながら、それに拘らずに新しい事にも素直になって頑張っていきたいと思っています。まだまだ勉強中で浅学非才の身の上です。今まで以上にご指導を頂ければ幸甚です。皆様と御会い出来る事を楽しみにしております。ではマイクロ化学プロセス分科会 2016 年討論交流会(三重県)でお会いしましょう

(庶務幹事 太田)